まほろん　令和３年度第５回文化講演会「縄文時代講座３」

# 「複式炉を考える」

令和３年 10 月 23 日　福島県文化財センター白河館
元福島県文化財センター白河館　学芸員　森　幸彦

## １　複式炉とは？

・複式炉の命名
　後藤守一と梅宮茂　※福島市（旧飯野町）白山遺跡（1957 年調査　1960 年発表）

## ２　複式炉の特徴

・構造　土器埋設部+石組部+前庭部
・時期　大木９式～10 式の限定期　発生と消滅
・分布　北＝岩手・秋田、西＝富山、南＝埼玉
・国指定史跡　宮畑遺跡、浦尻貝塚、和台遺跡

## ３　複式炉文化

・住居：福島県内　1,000 棟以上　企画性
・集落：200 遺跡以上
・中心：文化の中心は福島県　安達太良？
・エネルギーの転換：土器から石へ
・土器：注口土器の出現
・石器：縦長剥片
・他の遺物：人体文土器、狩猟文土器、
　　土偶、石棒

## ４　複式炉の機能

・出現、消滅の論理的証明
・調理法説、祭祀説

## ５　「原始炉」の研究

---

森　幸 彦　（もりゆきひこ）

昭和 33 年生まれ。63 才。県立原町高校、明治大学文学部史学地理学科（考古学専攻）卒業。昭和 58 年県教育庁文化課に学芸員として採用、3 年の博物館設立準備を経て、昭和 61 年、県立博物館設立時から学芸員として勤務。平成 10 年、福島県文化財センター設立準備のため県庁文化課に異動。福島県文化財センター白河館「まほろん」を立ち上げ4年勤務し、平成 17 年より県立博物館に再び異動、平成 30 年 3 月退職。同年 4 月から大熊町教育委員会学芸員として勤務。他方、南相馬市鹿島区鎮座「伊勢大御神（いせおおみかみ）」宮司。延喜式内御刀神社、山田神社ほか数社の宮司。専門は縄文文化研究。

## 梅宮茂氏「複式炉文化論」の骨子

時　期：縄文時代中期後葉≪大木 9a 式～大木 10(新) 式≫

機　能：調理法の多様化・火への信仰・火山信仰

・石組部＝暖房用焚き火・照明・土器の煮沸・土製品の焼成

埋設土器部＝調理・火種の保存・火の供献　・前庭部＝火の祭祀

住　居：３本主柱または４本主柱・設計のパターン化・収容人口増加に対応・強固・立体空間利用・場の分化・火棚の存在・冷涼化対策

集　落：大規模化・環状集落・安達太良型複式炉

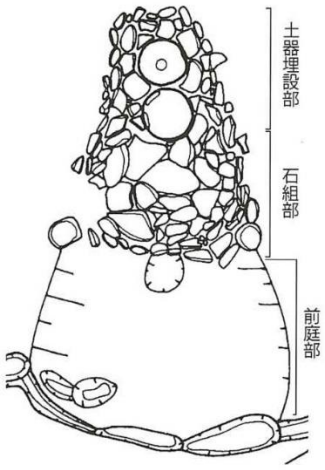
文化圏：安達太良山麓を中心とする約 80km 圏内

精神面：火山安達太良山の信仰

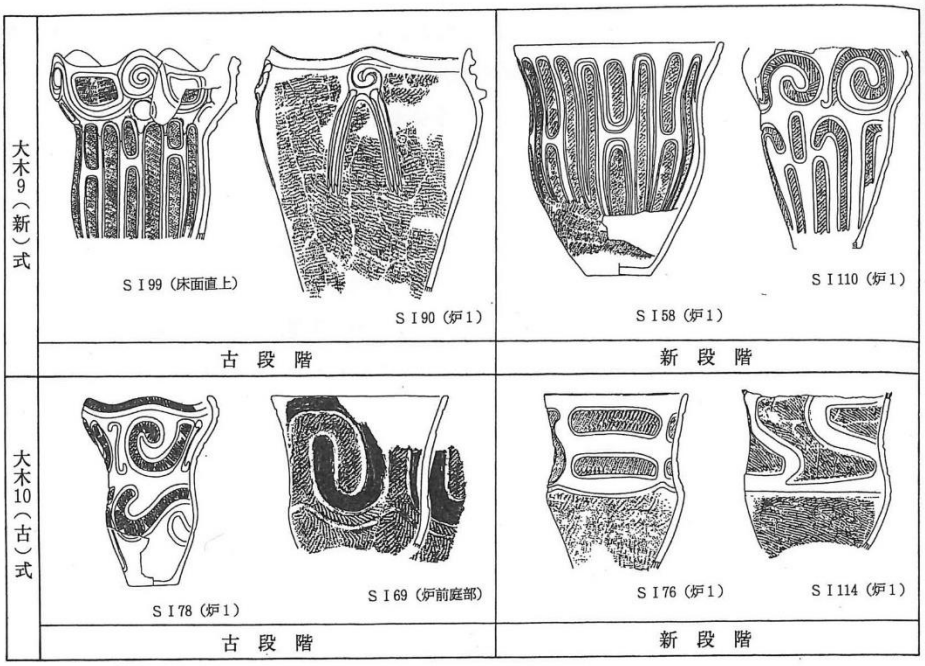
その他：注口土器の出現（木の実酒）、貯蔵食料、種子類保存、パン状炭化物、サケ・マス乾魚保存、取灰、中心地域移動説

第１図

複式炉各部の名称
二本松市塩沢上原Ａ遺跡
12号住居跡



第２図　複式炉の断面　福島市和台遺跡　134号住居跡



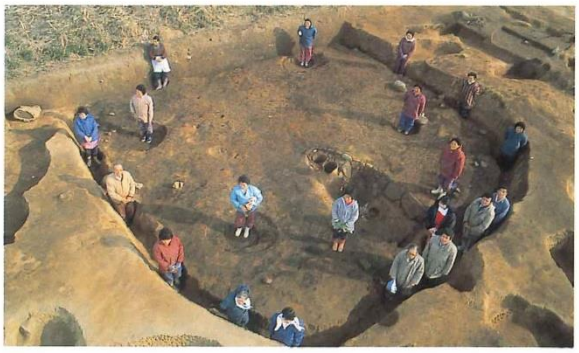

第３図　法正尻遺跡における大木９（新）式～大木10（古）式の土器の変遷

高木遺跡251号住居跡　複式炉と炉内埋設土器（大木9新式）

高木遺跡269号住居跡　複式炉と炉内埋設土器（大木10a式）

高木遺跡179号住居跡　複式炉と炉内埋設土器（大木10a式）

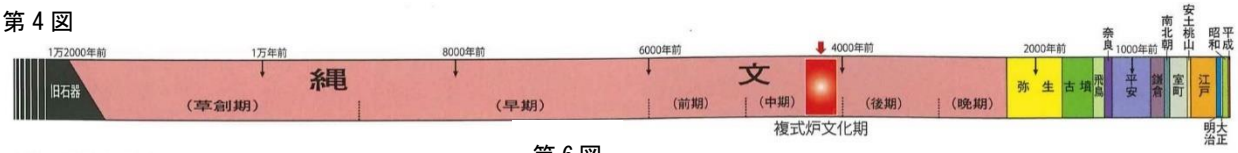
第４図



大型の竪穴式住居の跡　郡山市曲木沢遺跡

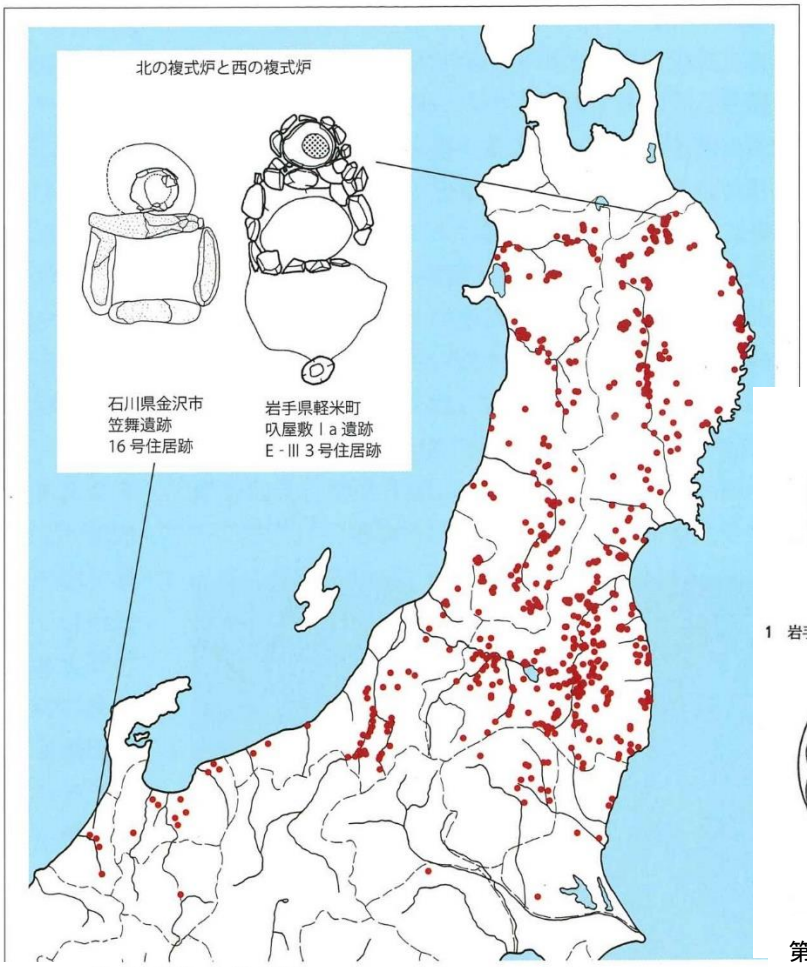
こんなに人が入れます　郡山市曲木沢遺跡

第５図

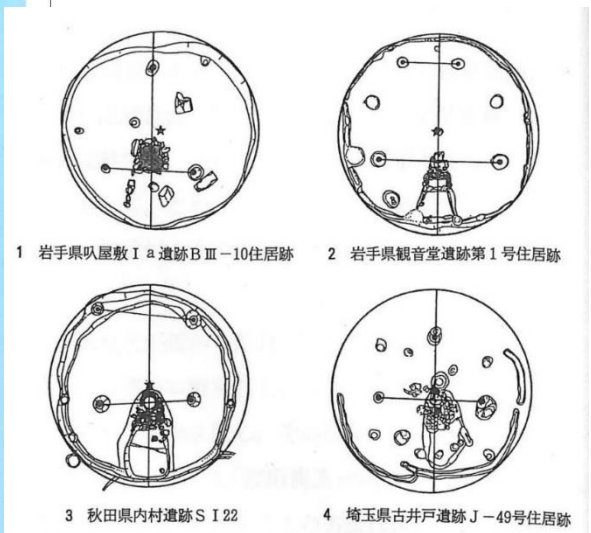



第６図

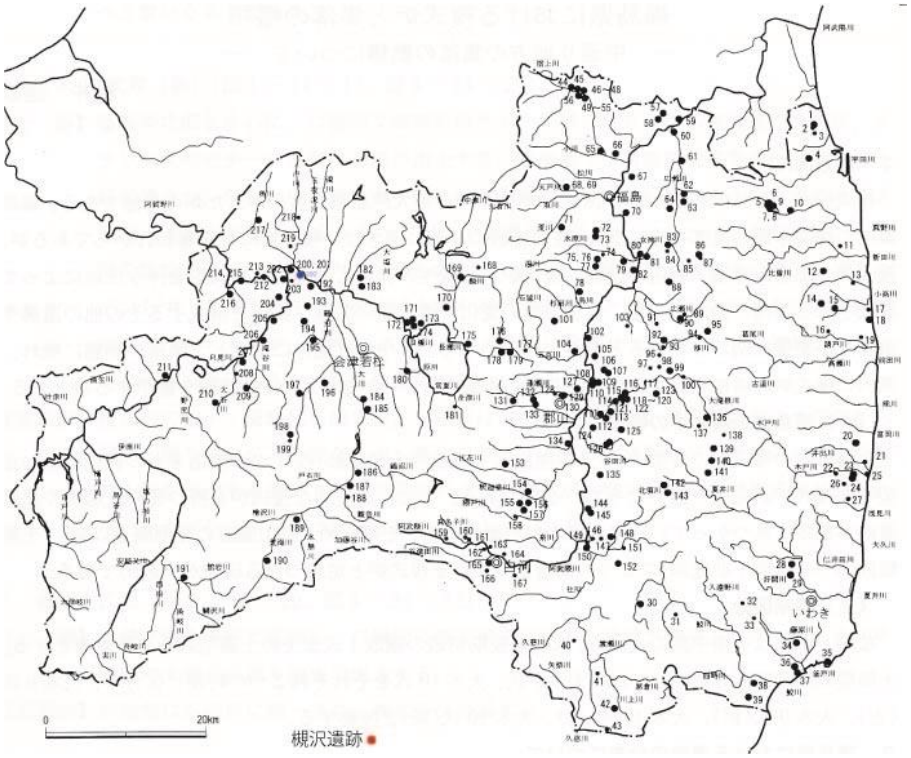
「複式炉文化」の時間的位置




第7図　複式炉を持つ集落の分布（『日本考古学協会2005年度福島大会シンポジウム資料集』に加筆）




第8図　分布の南端・北端の複式炉をもつ住居跡




第9図　福島県内の複式炉を持つ集落の分布

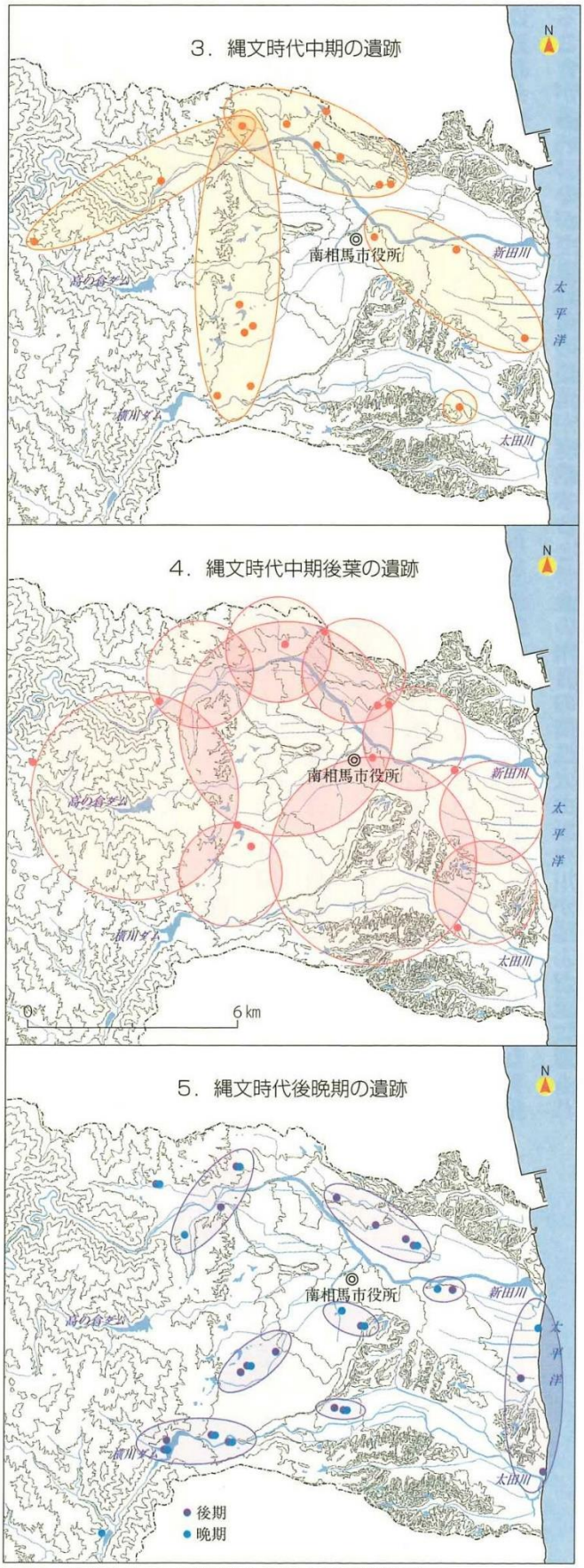
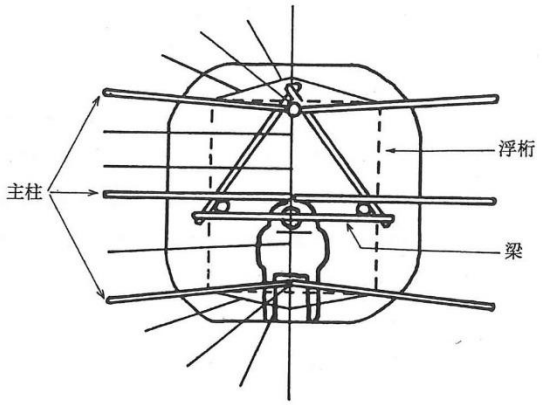
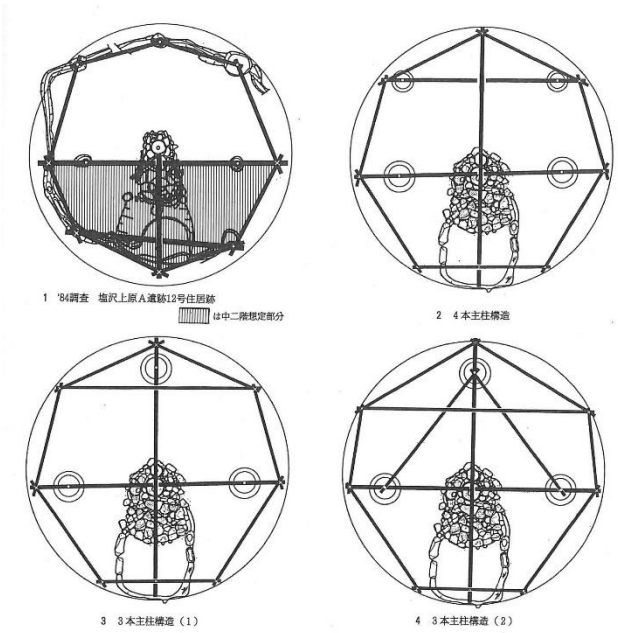



図19　原町区域の縄文時代遺跡の時期別分布

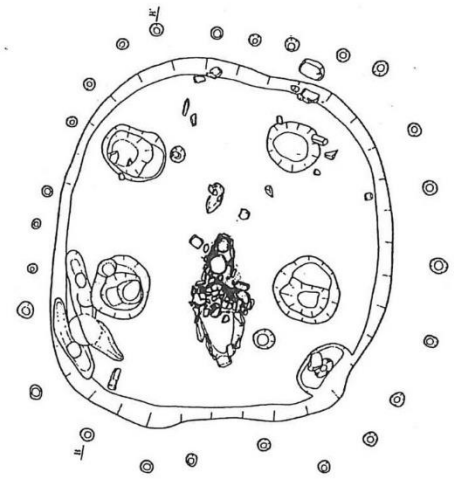
第 10 図



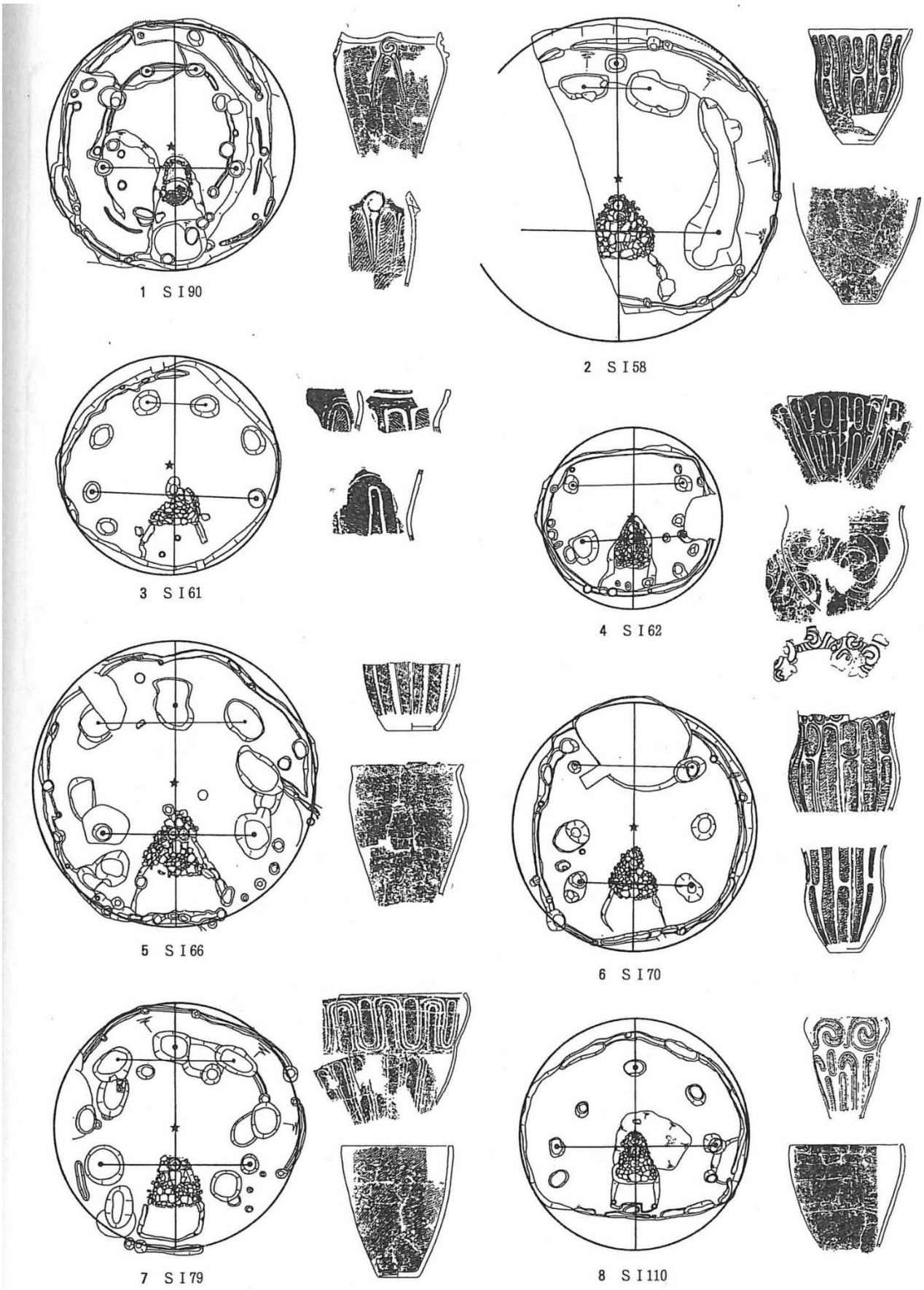

第 11 図　岩淵遺跡第１号住居跡の上屋構造
（目黒1976より転載）



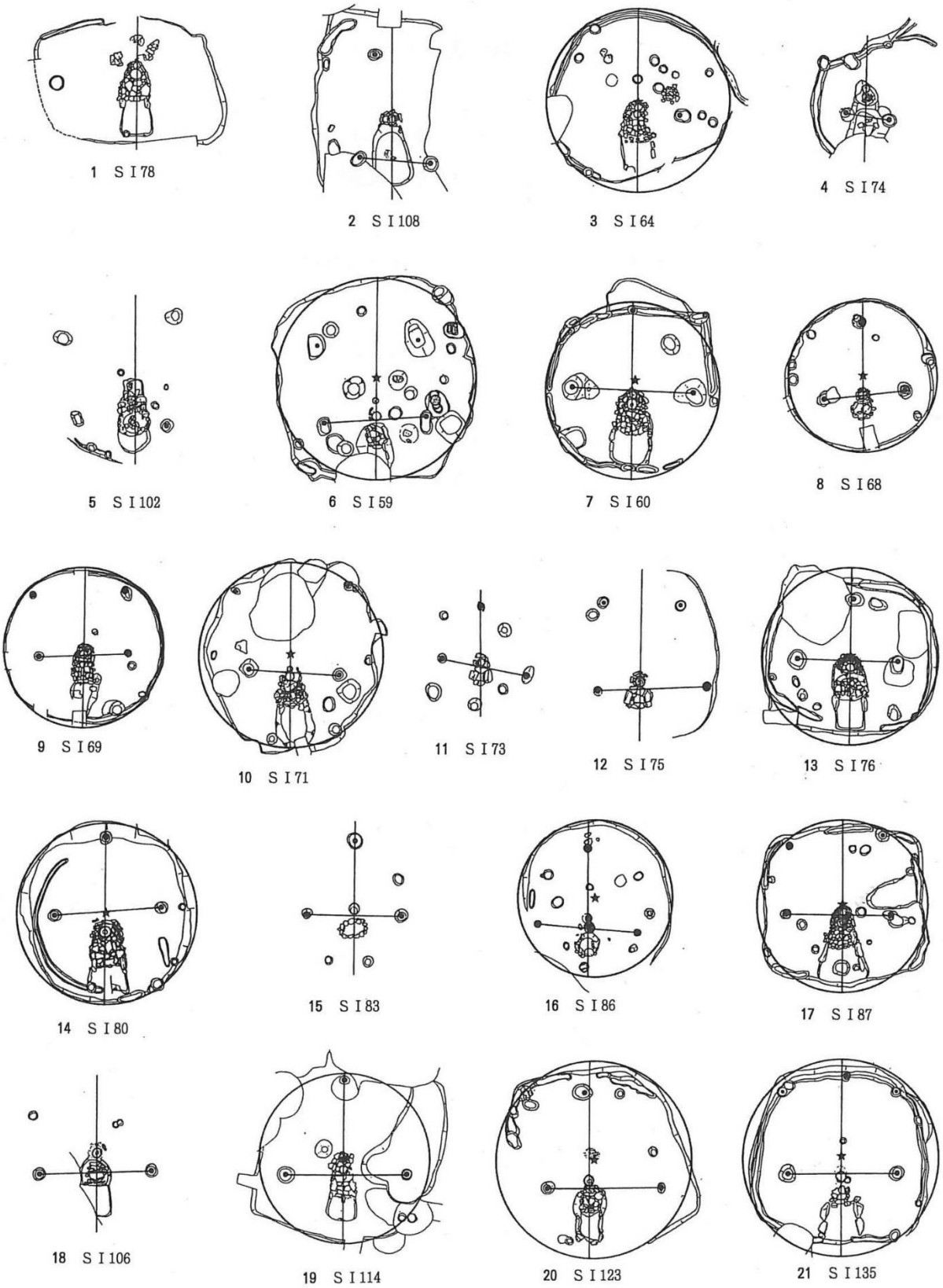

第 12 図　復式炉をもつ住居跡の上屋構造推定図



第 13 図　上ノ台Ａ遺跡ＳＩ36




第14図　法正尻遺跡における大木9(新)式期の住居跡

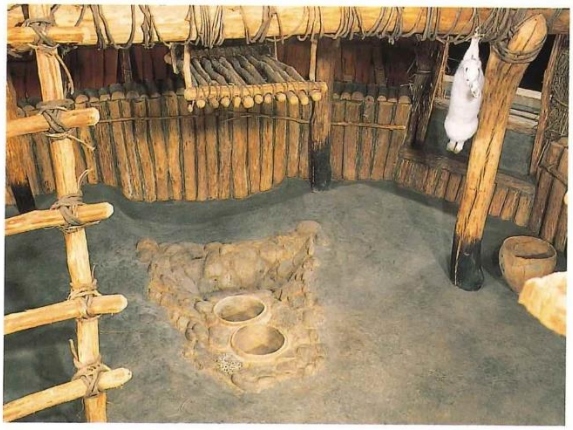



第15図　法正尻遺跡における大木10(古)式期の住居跡

第16図

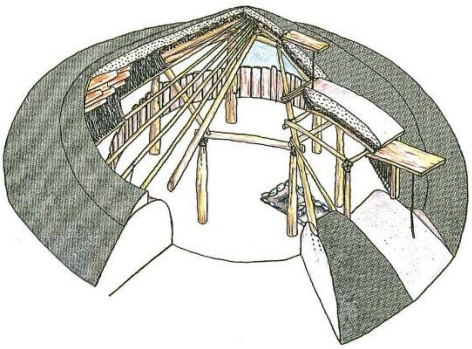
竪穴式住居をつくる

第17図　復元された竪穴式住居　福島県立博物館

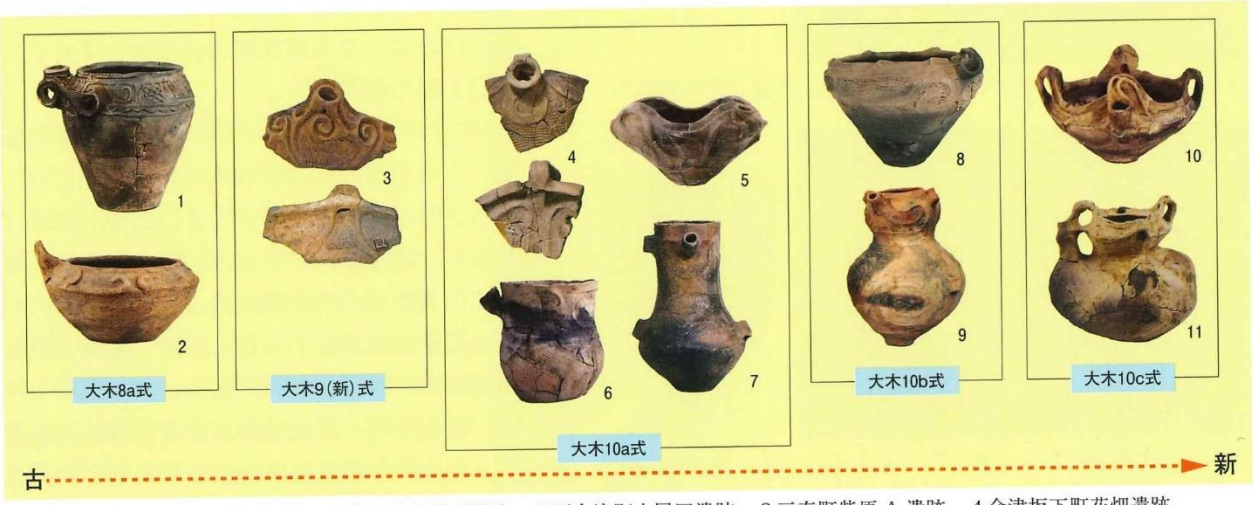


竪穴式住居の内部

第18図　火災にあった竪穴式住居　岩手県御所野遺跡

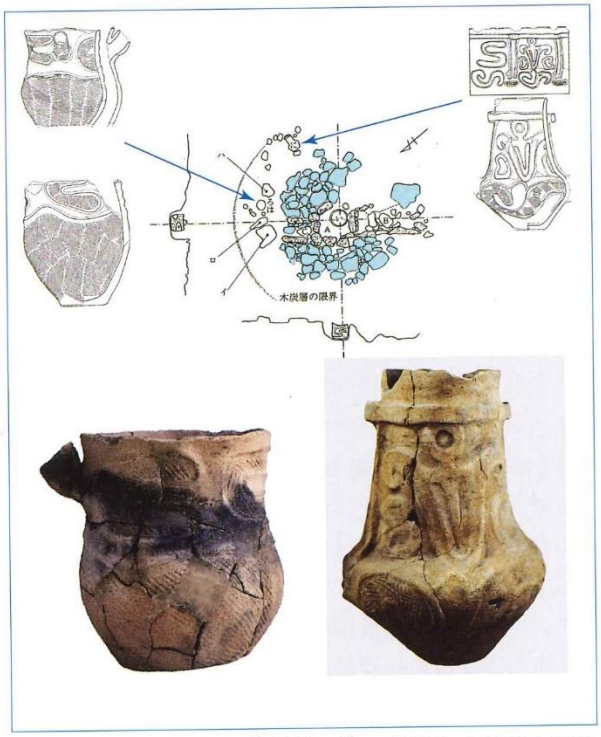


御所野遺跡の竪穴式住居の復元
（一戸町教育委員会提供）

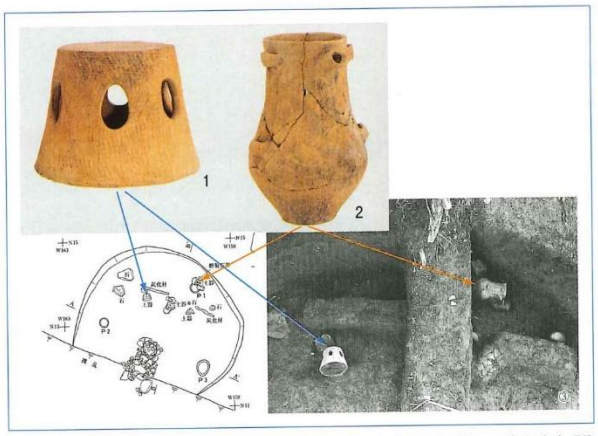



注口土器のうつりかわり　1喜多方市博毛遺跡　2西会津町小屋田遺跡　3三春町柴原A遺跡　4会津坂下町花畑遺跡
5・8飯舘村上ノ台遺跡　6南相馬市宮後遺跡　7・10・11本宮市高木遺跡　9田村市北鹿又地区

第19図




南相馬市宮後遺跡敷石住居跡　注口深鉢と人体文土器の出土状況

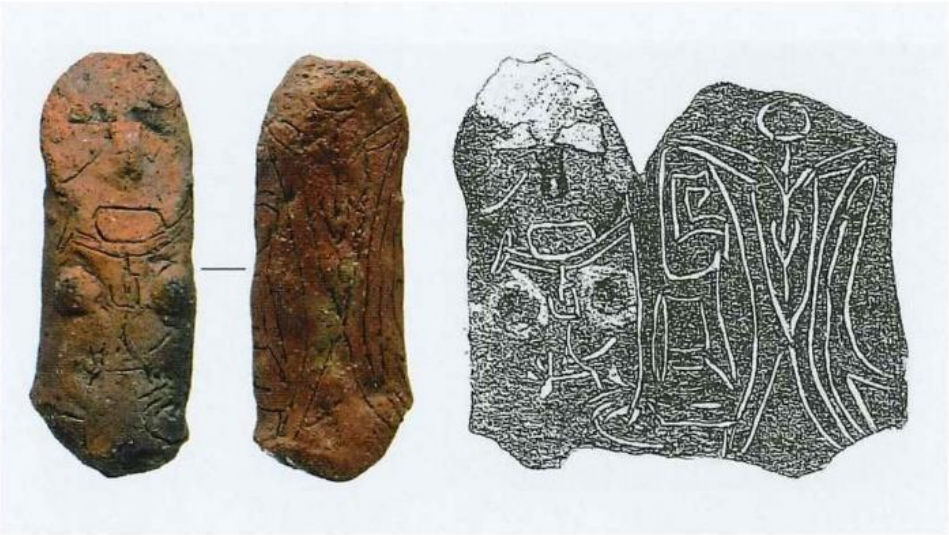



福島市宇輪台遺跡36号住居跡の出土状況　台形土器と注口壷形土器
写真提供：福島市教育委員会

県指定史跡前田遺跡近くの山の斜面で農道工事中に発見された。このタイプの土器が5～6点まとまって出土したというが、他は散逸したらしい。右の土器に伴うと思われる蓋も出土している。→

田村市船引町北鹿又字向山地内採集　ヒサゴ形注口土器

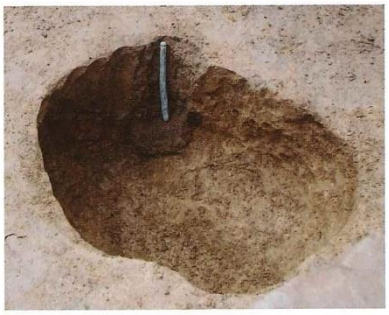
第20図



本宮市高木遺跡　男根の形をした土偶の表と裏

福島市和台遺跡78号埋設土器　写真提供：福島市教育委員会

第 21 図　土偶の背中



楢葉町井出上ノ原遺跡　45号住居跡　同住居跡出土石棒と土偶

写真提供：中央大学文学部考古学研究室

第 22 図

福島市愛宕原遺跡９号住居跡　壁に突き刺さった石棒
写真提供：福島市教育委員会

第 23 図

福島市和台遺跡　狩猟文土器文様部

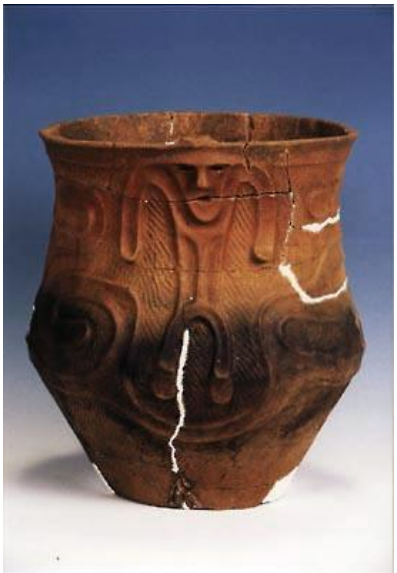
第 24 図

第 25 図　青森県韮窪遺跡の狩猟文土器

第 26 図　岩手県馬立Ⅱ遺跡の狩猟文土器

福島市和台遺跡78号埋設土器　写真提供：福島市教育委員会

第 27 図



第 28 図　福島市和台遺跡の人体文土器

地面を掘りくぼめた炉　縄文時代中期中ごろ

石でかこった炉　縄文時代中期中ごろ

石でかこって土器をうめた炉　縄文時代中期中ごろ

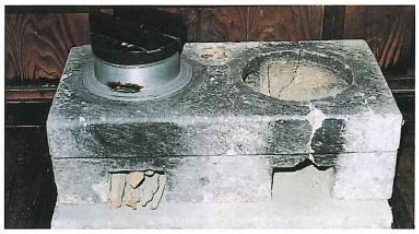
ふくしき炉

ふくしき炉

ふくしき炉　縄文時代中期後半

石でかこった炉　縄文時代後期後半

かまど　古墳時代



かまど　近代

ガスレンジ　現代

第 29 図　原始炉の研究

原子炉（現代）

第 30 図　南相馬市東町遺跡

福島県立博物館『企画展図録　発掘ふくしま４』(2017 年) の表紙

第 31 図　まほろん　竪穴住居幻影